



## 第92期 報告書

平成21年10月1日から平成22年9月30日まで

伊藤忠食品株式会社

証券コード：2692

### トップメッセージ

**決算概況と  
今後の取り組み** [» P1-2](#)

### トピックス

「タツヤ・カワゴエのロールケーキ」など [» P7-8](#)

#### お知らせ

決算期の変更に伴う  
株主優待発送時期の変更について [» P9](#)



## 変化する社会ニーズを的確に捉え、 堅実な成長発展を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当社平成22年9月期(平成21年10月1日から平成22年9月30日まで)の事業概況などをご報告申し上げます。

平成22年12月

代表取締役  
社長執行役員

清口泰三

**Q** 当期(平成22年9月期)の取り組みと業績についてお聞かせください。  
**A** 厳しい事業環境の中、コストマネジメントの推進により、減収ながら経常利益の大幅な増加を達成しました。

国内の経済情勢は、景気の持ち直し傾向が見られながらも、円高やデフレの進行、雇用不安など先行き不透明な状況が続きました。食品流通業界では、依然として消費者の節約志向、小売業の業態を超えた価格競争の激化など、当社グループの事業環境も厳しい状況で推移しました。

こうした状況のもと、当社グループは、スーパーやコンビニエンスストアなど組織小売業との取引深耕に注力するとともに、コストマネジメントの徹底や新たな成長に向けた新機能の開拓、WEBネットワーク分野への取組みを開始するなど卸機能の更なる強化・質の向上に努めてまいりました。

その結果、組織小売業との酒類取引増加があったものの、卸売業向けの取引減少などにより、減収となりました。利益

面では、前期において実施した連結子会社売却と物流改善を中心としたコスト削減策が奏功し、大幅な増益を果たしました。

以上により当期の連結業績は、売上高5,975億51百万円(前期比4.0%減)、営業利益60億48百万円(同22.2%増)、経常利益64億21百万円(同25.8%増)、当期純利益は、投資有価証券評価損などを計上したため34億50百万円(同3.7%減)となりました。

**Q** 次期(平成23年3月期)における注力テーマと業績見通しはいかがですか?  
**A** 「成長とBPR」をテーマに掲げ、特に新規成長戦略である「WEB卸機能の確立と取引拡大」に注力していきます。

当社は、親会社の伊藤忠商事株式会社の決算期に合わせて、次期をもって3月決算への決算期変更を行います。そのため次期は、平成22年10月1日から平成23年3月31までの6ヶ月間の変則決算期となります。

当面の事業環境については、景気の回復傾向が鈍化し、

不確実かつ不透明な状況が続いているものと見ています。そうした中で当社グループは、「成長とBPR」を次期のテーマに掲げ、「営業戦略」「新規成長戦略」「質的向上」「基本政策」の4方向から取り組んでいきます。このテーマが示す「成長」とは、優良顧客との取引深耕と新分野への挑戦により、市場平均以上の成長インデックスを目指していくものです。「BPR(Business Process Re-engineering)」は、業務オペレーションの標準化・効率化による生産性の向上を指しています。

### ● 次期の注力テーマ ●

#### 営業戦略

- 成長性・安全性・収益性の高い企業との取引拡大
- 不採算取引の改善による赤字取引撲滅
- 最適なポートフォリオの構築（販売先・仕入先・業務）

#### 新規成長戦略

- WEB卸機能の確立と取引拡大
- 新機能の開拓と新収入源の獲得

#### 成長とBPR

#### 質的向上

- BPRの実行と業務オペレーション精度の向上
- 物流コストの削減
- 次世代情報システム化の推進

#### 基本政策

- プロフェッショナル集団の育成
- CSR・コンプライアンスの遵守

特に重点を置く取り組みは、新規成長戦略として推進する「WEB卸機能の確立と取引拡大」です。WEBマーケットを分類すると、「ポータル」「eコマース」「コミュニティ」「専門サイト」の4つに大別できますが、当社グループはこのうち「eコマース」「コミュニティ」「専門サイト」の3市場をターゲットに、卸機能を提供していく考えです。現在、商品情報のデジ

タルデータ化を進めており、今後これを3つのWEB市場に供給展開していくために、コンテンツ開発およびシステム設計、運営体制の構築を加速してまいります。

次期の連結業績については、別表の通り予想しており、12か月換算の比較では、増収の確保および経常利益の過去最高更新を目指してまいります。

**Q/A** 株主の皆様へのメッセージをお願いします。  
次期については、安定配当の維持を優先し、1株当たり32円の期末配当を計画しております。

今回の期末配当は、前期同額の1株当たり32円とさせていただきました。これにより、中間配当と合わせた年間配当額は、同64円(前期比2円増配)となりました。次期については、投資有価証券評価損の発生により、当期純利益が0円となる見通しですが、キャッシュアウトを伴う損失計上ではないため、安定配当の維持を優先し、同32円の期末配当を計画しております。

当社グループは、今後とも社会のニーズを的確に捉えて、これに応え、株主の皆様に安心して投資していただける企業として、堅実な成長発展を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ● 連結業績予想 ●

(単位：百万円)

	当期実績	次期予想	参考予想 (H22.10.1～H23.9.30)
売 上 高	597,551	290,000	600,000
営 業 利 益	6,048	3,000	6,000
経 常 利 益	6,421	3,400	6,700
当期純利益	3,450	0	1,800

## 連結決算の概要

■ 連結貸借対照表

科 目	当期	前期
	平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在
<b>● 資産の部</b>		
流動資産	124,773	121,091
固定資産	50,831	53,505
有形固定資産	26,026	27,371
無形固定資産	968	955
投資その他の資産	23,836	25,178
資産合計	175,605	174,596
<b>● 負債の部</b>		
流動負債	116,151	117,282
固定負債	2,867	3,097
負債合計	119,019	120,379
<b>● 純資産の部</b>		
株主資本	55,858	53,227
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,163	7,163
利益剰余金	44,361	41,732
自己株式	△ 590	△ 591
評価・換算差額等	728	987
新株予約権	—	1
純資産合計	56,586	54,216
負債純資産合計	175,605	174,596

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

B/S 連結貸借対照表

当連結会計年度末における総資産は、1,756億5百万円となり、前連結会計年度末と比べ10億9百万円の増加となりました。

純資産は、565億86百万円となり、前連結会計年度末と比べ23億69百万円の増加となりました。

主な要因は、利益剰余金の増加が26億29百万円、その他有価証券評価差額金が2億59百万円減少したことなどによるものです。

連結損益計算書 P/L

売上高は、主要取引先である大手組織小売業との取引拡大があったものの、酒類卸売業との取引減少や前期において実施した連結子会社の売却などにより、前期比較4.0%（246億29百万円）減少の5,975億51百万円となりました。営業利益は、売上高減少に伴う売上総利益の減少はあったものの、売上総利益率の改善が図れたことやコストマネジメントの推進による物流関連コストなどの販売費及び一般管理費の減少により、前期比較22.2%（10億99百万円）増加の60億48百万円となりました。経常利益は、営業利益の増加により、前期比較25.8%（13億17百万円）増加の64億21百万円となりました。当期純利益は、投資有価証券の評価損など特別損失の計上により、前期比較3.7%（1億33百万円）減少の34億50百万円となりました。

# Consolidated Financial Statements

## ■連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成21年10月1日から 平成22年9月30日まで	前期 平成20年10月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	597,551	622,181
売上原価	534,471	557,911
売上総利益	63,079	64,269
販売費及び一般管理費	57,031	59,320
営業利益	6,048	4,948
営業外収益	1,100	1,038
営業外費用	727	883
経常利益	6,421	5,103
特別利益	292	1,249
特別損失	1,294	716
税金等調整前当期純利益	5,419	5,637
法人税、住民税及び事業税	1,991	1,966
法人税等調整額	△ 23	85
当期純利益	3,450	3,584

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

## ■連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度(平成21年10月1日から平成22年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成21年9月30日残高	4,923	7,163	41,732	△ 591	53,227	987	1	54,216
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当	—	—	△ 821	—	△ 821	—	—	△ 821
当期純利益	—	—	3,450	—	3,450	—	—	3,450
自己株式の取得	—	—	—	△ 0	△ 0	—	—	△ 0
自己株式の処分	—	0	—	1	1	—	—	1
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 259	△ 1	△ 260
連結会計年度中の変動額合計	—	0	2,629	0	2,630	△ 259	△ 1	2,369
平成22年9月30日残高	4,923	7,163	44,361	△ 590	55,858	728	—	56,586

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

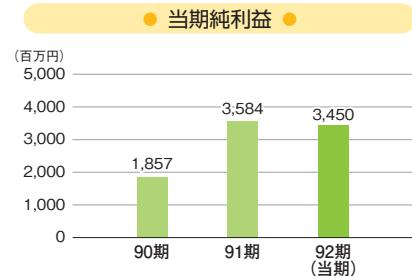
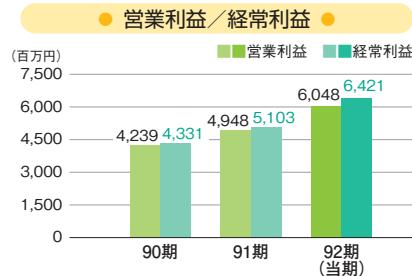
(単位:百万円)

科目	当期 平成21年10月1日から 平成22年9月30日まで	前期 平成20年10月1日から 平成21年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,490	4,734
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 245	△ 3,729
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 903	△ 852
現金及び現金同等物の増減額	4,341	151
現金及び現金同等物の期首残高	19,390	19,238
現金及び現金同等物の期末残高	23,731	19,390

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

## C/F 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動の結果増加した資金は、54億90百万円(前期より7億55百万円の収入増加)となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益が54億19百万円、ならびに法人税等の支払額18億63百万円などによるものです。

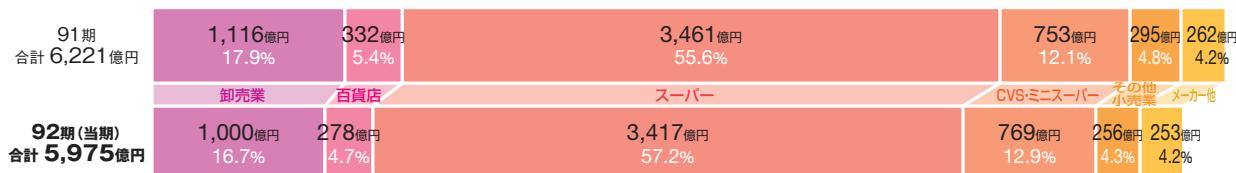


### ●商品分類別売上高構成比

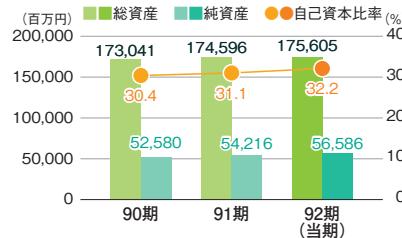


(注)「ビール」には、発泡酒、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高を含んでおります。

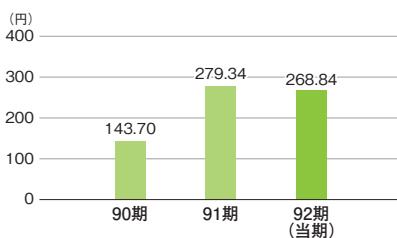
### ●業態別売上高構成比



### ●総資産／純資産／自己資本比率 ●



### ●1株当たり当期純利益 ●



### ●1株当たり純資産 ●



## ■貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期 平成22年9月30日現在	前 期 平成21年9月30日現在
<b>● 資産の部</b>		
流動資産	123,629	120,071
固定資産	50,370	53,361
資産合計	174,000	173,433
<b>● 負債の部</b>		
流動負債	115,228	116,411
固定負債	2,426	2,672
負債合計	117,654	119,084
<b>● 純資産の部</b>		
株主資本	55,574	53,324
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,162	7,162
利益剰余金	44,071	41,822
自己株式	△ 582	△ 583
評価・換算差額等	771	1,022
その他有価証券評価差額金	771	1,022
新株予約権	—	1
純資産合計	56,346	54,348
負債純資産合計	174,000	173,433

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

## ■損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 平成21年10月1日から 平成22年9月30日まで	前 期 平成20年10月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	590,274	610,457
売上原価	528,702	548,988
売上総利益	61,572	61,468
販売費及び一般管理費	55,762	56,831
営業利益	5,809	4,636
営業外収益	1,169	1,128
営業外費用	396	369
経常利益	6,582	5,395
特別利益	420	1,747
特別損失	2,020	1,477
税引前当期純利益	4,982	5,665
法人税、住民税及び事業税	1,887	1,881
法人税等調整額	24	95
当期純利益	3,070	3,688

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

## ■利益配分に関する基本方針

当社グループは株主の皆様への利益還元を最重要政策と考え、収益力の向上と財務体質の強化を図りながら、株主の皆様への利益配分拡大に努力することを基本方針としております。当期の年間配当金につきましては、1株につき前期比較2円増配の64円とし、期末配当金は中間配当金32円を差引き1株当たり32円とさせていただきます。これにより配当性向は23.8%となります。内部留保金の使途につきましては、財務体質の強化ならびに営業力強化のため新たな卸売業のビジネスモデル確立への投資とシステム開発などの資金需要に備える所存であります。

## 1株当たりの配当金と配当性向（連結）の推移



# TOPICS

## 「タツヤ・カワゴエのロールケーキ」

伊藤忠食品では、知名度の高い外食店舗や老舗名店などの人気メニューを冷凍食品や加工食品として、そのお店のブランドで商品化しています。今回は人気絶頂のシェフ川越達也氏プロデュースのロールケーキをご紹介します。



テレビや雑誌でおなじみ、東京・代官山のイタリアンレストラン「タツヤ・カワゴエ」でオーナーシェフを務める川越達也氏。「ジャンルにとらわれないイタリアン」をコンセプトに独自のスタイルを打ち出す川越氏が今回プロデュースしたロールケーキは、異なる3つの個性を3種類の色で表現した至極の一品です。特別なひとときに、ちょっとした贅沢を楽しみたいときにぴったりのこの商品は、当社ECサイト「**絶品！おとりよせ王国**」で絶賛発売中です。

今回、ご紹介した「タツヤ・カワゴエのロールケーキ」はこちらのサイトから購入出来ます。

<http://www.rakuten.co.jp/otoking/>



## CSR活動



### ボルネオ島の熱帯林再生および生態系保全活動について

当社では、環境保全・社会貢献活動の一環として、伊藤忠商事および伊藤忠グループ会社とともに、2009年度から(財)世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)に寄付し、WWFがボルネオ島(マレーシア)で推進している森林再生および保全プロジェクト「ハート・オブ・ボルネオ」を支援しています。

寄付先	(財)世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)	期間	2009年度より2013年度まで(5年間)
場所	ボルネオ島(マレーシア国サバ州北ウルセガマ地区)	面積	967ヘクタール(東京都港区の面積の約半分です)
寄付金額	伊藤忠商事および伊藤忠グループで5年間で総額2億5000万円		
植樹	植樹は現地の在来樹種など。5年をかけて植樹とメンテナンスを行う予定です。		

# TOPICS

## みんなでつくる★「贈録」、続々メンバー増加中！贈録 ZOOROKU



<http://minproject.jp/zouroku/>

贈録

検索



新規  
メンバー  
募集中！

無料

日本最大級\*



WEB上「食」づくりプロジェクト  
**「みんなのプロジェクト」**サイトも好評です

\*ポイント換金のないコミュニティとして

みんなの声を活かした新商品開発プロジェクトなど企業とメンバーの意見交換から、メンバーがグルメ情報やレシピ情報などを自由におしゃべりできる交流掲示板まで、お得に楽しく食を通じた交流ができる「食」のコミュニケーション広場です。

<http://minproject.jp/>

みんなのプロジェクト

検索

## お知らせ

## 決算期の変更に伴う株主優待発送時期の変更について

当社では、株主の皆様に当社をより身近に感じていただくために、単元株式数(100株)以上保有の株主様1名につき1口、当社オリジナルギフト商品をご賞味いただける株主優待を行っております。この株主優待は、**約30種類の厳選された商品**の中からお好きな品をお選びいただけるギフト「**ちょいす de チョイス**」(3,000円相当)です。決算期の9月期から3月期への変更に伴い、次回からお届けのスケジュールが変更になります。

### 次回「ちょいす de チョイス」お届けスケジュール

※平成23年3月31日時点で100株以上保有の株主様にお届けします。



●当決算期(平成22年9月期)の株主優待は例年通り実施(今回)。

●次期決算期(平成23年3月期)以降は毎年3月31日を基準日とし株主優待を実施いたします。

- 1 株主総会後、決議通知に、優待ハガキとカタログを同封しご郵送いたします。



- 2 カタログより優待商品をお選びいただき、ハガキを返信していただきます。



- 3 上記お届け期間にお選びいただいた優待商品がお手元に届きます。



※お届け期間は変更となる場合があります。

ちょいす  
de  
チョイス

大山ハム 伝統の逸品



一番人気

福さ屋無着色辛子めんたい 240g

根強い人気



「さんしょく伊賀上野の里」ロースハム&つるし焼豚詰合せ



第2位

## 会社概要／株式の状況

(平成22年9月30日現在)

## Corporate Profile / Stock Information

(平成22年9月30日現在)

商 号	伊藤忠食品株式会社		
創業年月日	明治19年2月11日(1886年2月11日)		
設立年月日	大正7年11月29日(1918年11月29日)		
資 本 金	4,923,464,500円		
従 業 員 数	連結1,045名 個別786名		
事 業 内 容	酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関するマーチャンダイジング等を主とした事業活動を展開。		
本店所在地	大阪市中央区城見2-2-22	大阪本社	〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話(06)6947-9811
	東京本社	〒103-8320 東京都中央区日本橋室町3-3-9 電話(03)3270-7620	
インターネッ ト ホームペー ジ	<a href="http://www.itchu-shokuhin.com/">http://www.itchu-shokuhin.com/</a>		
役員	(平成22年12月16日(取締役会終了時)より下記の新体制となりました。)		
代表取締役 社長執行役員	濱口 泰三	常勤監査役	長谷 茂
		監査役(非常勤)	増岡 研介
取締役 専務執行役員	岩城 彰	監査役(非常勤)	藤山 二郎
取締役 専務執行役員	足立 誠	監査役(非常勤)	末田 雅己
取締役 専務執行役員	栗山 勝之	常務執行役員	黒田 泰章
取締役 専務執行役員	佐藤 進	執行役員	山崎 義雄
取締役 専務執行役員	柏沼 康夫	執行役員	勝山 元春
取締役(非常勤)	松本 耕一	執行役員	大釜 賢一
取締役(非常勤)	星 秀一	執行役員	小嶋 一郎
		執行役員	小池 俊一
		執行役員	阿部 淳一

### 子会社・関連会社

卸売業	■(株)静岡メイカン ■カネトミ商事(株)	■(株)中部メイカン ■(株)スハラ食品
小売業	■(株)宝来商店	
物流管理・ 運送業	■新日本流通サービス(株)	■(株)東名配送センター
サービス業	■ISCビジネスサポート(株)	■(株)アイ・エム・シー

■連結子会社 ■非連結子会社 ■関連会社

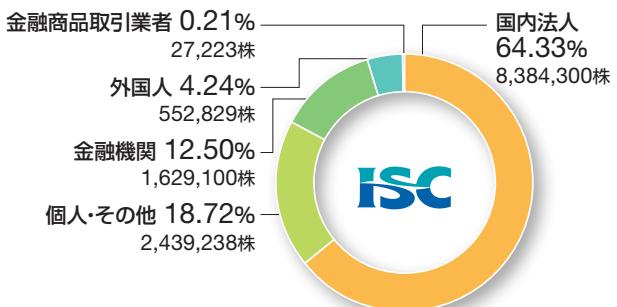
発行可能株式総数	40,000,000株	
発行済株式の総数	13,032,690株	
株主数	11,935名	
大株主		
株主名	所有株式数(株)	所有株式比率(%)
伊藤忠商事(株)	6,219,316	47.72
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (住友信託銀行再信託分・アサヒビール株退職給付信託口)	690,000	5.29
アサヒビール(株)	421,500	3.23
(株)日本アクセス	400,000	3.07
味の素(株)	339,129	2.60
松下 善四郎	302,000	2.32
みずほ信託銀行株退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	236,835	1.82
伊藤忠食品 従業員持株会	166,600	1.28
日本マスター・トラスト信託銀行(株)(信託口)	151,900	1.17
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	147,300	1.13

(注)1 上記のほか、自己株式が194,321株あります。

2 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(住友信託銀行再信託分・アサヒビール株退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビール株が所有していた当社株式を住友信託銀行(株)に信託したもので、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビール株に留保されております。

3 みずほ信託銀行株退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)の所有株式は、みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したもので、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はみずほ銀行に留保されております。

### 所有者別株式分布状況



# Stockholder Memo

株主メモ

事業年度 每年4月1日から翌年3月31日まで

定期株主総会 每年6月

基準日 定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 〒105-8574

東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

\*公告掲載の当社ホームページアドレス

<http://www.itchu-shokuhin.com/>

単元株式数 100株

証券コード 2692

※下記記載の事業年度の変更に準じております。

## INFORMATION

ご案内

### 決算期変更の お知らせ

平成22年12月16日開催の定期株主総会において、事業年度を従来の10月1日から翌年9月30日までとしていたものから、4月1日から翌年3月31日までと変更いたしました。これに伴う経過措置といたしまして、第93期の事業年度は平成22年10月1日から平成23年3月31日までの6か月間となります。

住所変更、  
単元未満株式の  
買取等のお申出先

証券会社に口座のある株主様

▶ 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため  
特別口座が開設されました株主様

▶ 特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金のお支払い」  
について

配当金領収証にてお受取りの  
株主様

▶ 本年から「支払通知書」に替えて「配当金計算書」を同封いたしております。

口座振込を指定されている株主様

▶ 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。

「配当金計算書」について  
※確定申告をなされる株主様は  
大切に保管してください。

配当金支払の際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねてあります。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

未払配当金の支払いの  
お申出先

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

# ISC 伊藤忠食品株式会社

お問い合わせ

- 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話 (06)6947-9811
- 東京本社 〒103-8320 東京都中央区日本橋室町3-3-9 電話 (03)3270-7620
- インターネットホームページURL <http://www.itchu-shokuhin.com/>



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC™ C022915



本報告書は、環境保全のため、FSC™認証紙を使用して  
植物油インクで印刷しています。